

Town Topics

～まちのわだい～

2月24日、八代市役所本庁で、八代市と崇城大学が連携協力についての協定調印が行われ、関係者約30人が出席しました。

これは、市と崇城大が相互の人的・知的資源の交流や活用を図るため、地域社会の発展と人材育成を目指すもので、文化やスポーツ、国際交流、産業、環境、まちづくりなどの分野で連携することになります。

調印式後、中山峰男学長は、「八代市は、県内最大の港を持つ可能性を秘めた都市。東アジアのビジネスチャンスはこれからと考えている。また学術的なこと以外にも、市民のみなさんの目に見える活動も行いたい」と話し、坂田市長は、「厳しい財政状況の中でまちづくりを進めるのは難しい面もあるが、大学には豊富な情報や知識がある。市の発展のために勉強させてもらいたい」などの抱負が語られました。

これから、国際交流事業などの支援や自治体初のソーシャルネットワークサイト「ごろっとやっちろ」の運用・活用への研究、自然環境調査など、あらゆる分野での連携が期待されます。



▲固く握手する坂田市長と中山学長(右)

力を合わせてまちづくり

市と崇城大学との連携協力で協定調印

おもいきりスポーツを楽しもう

千丁町内各支部対抗卓球・グラウンドゴルフ大会



▲白熱する卓球大会

2月19日、千丁町で支部対抗による卓球とグラウンドゴルフ大会が行われました。

千丁体育館で行われた卓球大会では、男子11支部、女子8支部が参加し、白熱した熱戦の末、東牟田支部が総合優勝。また千丁西グラウンドでは、男子16支部、女子15支部が参加したグラウンドゴルフが行われ、ホールインワンを41人が達成。中には3回入れた人もいました。結果は、新牟田一番組支部が男子・女子・総合ともに優勝。大会に参加した人たちは、スポーツを通じて親睦を深めていました。

子どもの健康づくりを考える

第26回健康フェア



▲講演する井氏

2月18～19日、第26回健康フェアがやつしろハーモニーホールで行われました。これは、子どもたちの体力向上の実践事業として開かれたものです。

初日は、約300人が会場につめかけ、平成14年度から文部科学省の体力向上推進モデル校である太田郷小学校での取り組みや児童たちの体力向上の成果について説明がありました。また、同校3～6年生の児童たちによるダンスも発表され、会場から盛大な拍手が送られました。その後、井薫県体育協会副会長が「変わる 変える 21世紀の健康のあり方について」と題して講演。「子どもたちの健康には大人も関わることが大切。健康に限らず自分の課題に対して、多角的な物の見方を持ちつつ、現状を変えていくことが必要」と話しました。

翌日は、体力測定や各種健康相談、郷土料理の試食、農産物の販売などが行われ、多くの人で賑わいました。

演題『児童養護現場から見える子どもの受難』
講師：児童養護施設「藤崎台童園」園長 尾里 一清先生



子どもの笑顔のために 児童虐待防止啓発講演会

2月23日、太田郷公民館で児童虐待防止を目的とした講演会が行われ、約160人が耳を傾けました。

尾里 一清氏（児童養護施設「藤崎台童園」理事長兼園長）が「児童養護現場から見える子どもの受難」を演題に、虐待を受けた子どもの体験談や作文を交えながら、虐待が子どもに及ぼす影響などを紹介し、「この世に生を受けた子どもたちには、生まれてきたことを一人たりとも後悔してほしくない。それを支える地域づくりも大切だ」と講演しました。

来場者からは「教科書には載っていない現実の厳しさが分かった。目まぐるしく変化する子どもを取り巻く環境に対して法律や制度も変わって欲しい」（19歳大学生）、「虐待を受けても、最後は親が恋しいという子どもの気持ちに心をうたれた」（72歳女性）などの感想が聞かれました。

八代の魅力発信 やつしろの観光と物産展

2月6日～9日、JR博多駅構内でやつしろの観光と物産展が八代シティプロモーションセンターの主催で行われました。

会場には八代の特産品や農・海産物が一同に並び、人気の商品は売り切れるものも多く、特に晩白柚は、期間中300個も売り上げました。また、展示したイノシシや鹿のはく製と一緒に記念撮影する家族連れもあり、会場は終日大変な賑わいでした。



▲終日、大変なにぎわいの物産展

イノシシやシカのはく製もお目見え▼



100歳おめでとうございます 中島ミツエさん

2月27日、中島ミツエさん（蛇籠町）が100歳の誕生日を迎えました。

相撲やサッカーのテレビ観戦や毎日一杯の焼酎が楽しみという中島さんは、夫婦で海運業を営んでいた当時の思い出話や「毎日ごはんも、おもさん（＝どれだけでも）食べます」とハキハキとした口調で話し元気いっぱいでした。



藤本地域振興会が6連覇 坂本校区民体育祭体力づくり駅伝大会



優勝のテープを切る藤本地域振興会

2月19日、坂本町で校区民体育祭体力づくり駅伝大会が行われ、8地域振興会が参加し健脚を競いました。

春の日差しの中、三坂公民館前からスタートし、坂本公民館をゴールとする14区間19.6kmのコースには、地域の人が応援に駆けつけ、選手たちに声援を送っていました。

レースは、4区で首位に立った藤本地域振興会がそのまま安定した走りを見せ、6年連続の栄冠に輝きました。

県広報コンクール写真部門入賞！



第49回県広報コンクールの審査が1月12日に行われ、旧八代市「広報やつしろ」平成17年2月1日号表紙掲載の「世界に鳴り響け！秀岳館高校 雅太鼓」が写真部門（41点応募）で佳作を受賞しました。

これも皆さんのご協力とご声援あってのものです。ありがとうございました。これからも「広報やつしろ」をよろしくお願ひします。